

(様式第2号)

SDGs 達成に向けた宣言書 (要件1)

令和5年10月20日

所在地 南アルプス市上今諏訪 850-1
企業名 山梨県木材製品流通センター協同組合
代表者 代表理事 戸栗哲也

当社は、SDGs の内容を理解し、SDGs 達成に向けた方針及び取組を下記のとおり宣言します。

記

SDGs 達成に向けた経営方針等

地域材を積極的に活用することで、森林資源の循環を本来あるべき姿に近づける。また、木質バイオマス燃料である薪の活用を普及させていくことで、森林サイクルの一助を目指すとともに温室効果ガスの削減に寄与していく

3 側面 (主な分野にレ)	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	重点的な取組及び 指標の進捗状況	
			登録年月日:	(進捗率)
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	CO2 などの温室効果ガスの削減を 目指し電力使用量を抑える	月々の電力使用量 現在: 月平均使用電力 量 24,772KWh 2030 年: 現況値か ら 20%削減		(進捗率)
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	地域材を積極的に活用することで 森林資源の循環に寄与していく	製品への県産材の利用 割合 現在: 年間 458 m ³ 2030 年: 現況値か ら 10%増加		(進捗率)
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	木材に係る教育の機会を積極的に 提供していく	インターンシップの受 け入れ 現在: 年間 4 名 2030 年: 現況値か ら 20%増加		(進捗率)

2030 年の目指す姿

災害に強い森づくりを目指し、森林の収穫・植林・間伐・保育そして再び収穫という森林循環を健全な姿に近づけることを心がけていく。豊かな森づくりは山地の土砂崩壊を抑え、また、清流を作り出すことにも通じる。県産材の積極的な活用により森林サイクルの再構築を常に念頭におき業務に臨む。

【記載留意点】

- ・上記については「SDGs 達成に向けた経営方針等」を記載いただくとともに、（様式第3号）「SDGs 達成に向けた取組チェックリスト」（要件2）に記載いただいた取組を踏まえ、「SDGs 達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は、原則として数値目標を記載してください。
- ・「環境」、「社会」、「経済」の3 側面の全てについて重点的な取組を記載してください。該当する分野にチェックを入れ、取組が複数の分野にまたがる場合は、複数にチェックを入れてください。
- ・重点的な取組及び指標の進捗状況については、新規登録時は記入不要です。